

# 患者さんパンフレット

四国がんセンター  
婦人科



私たち医療スタッフは

- I. 化学療法に対する不安を軽減し、最良の状態での治療を受けられるようにお手伝いします
  
- II. 治療後の苦痛や副作用を最小限にし、順調に回復され安心して退院を迎えられるようにお手伝いします

# ベバシズマブ（アバスチン）療法を 受けられる方へ

さま

---

主治医

---

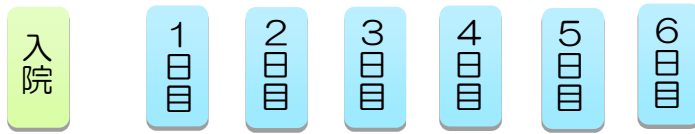
受け持ち看護師

---

2018年3月15日 作成  
2026年2月13日 改訂

# ベバシズマブ（アバスチン）療法のスケジュール

1コース（21日間）



ベバシズマブ  
（アバスチン）



30～90分の点滴です

- 初回90分で投与し、問題なければ2回目は60分、さらに問題なければ3回目以降は30分で投与します

- 抗がん剤を投与したときに、過敏反応が起こることがあります。過敏症状がでたら、早めに点滴を止めることが大切です
- 息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気など気分が悪いときは我慢をしないで、すぐに医療スタッフにお知らせください



## 治療前の歯科受診について

- ◆ 治療時に起こる口のトラブルを予防し治療が円滑に進むように、治療開始前の歯科診察を行っています
- ◆ 治療前の歯科受診では、以下を行います
  - レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
  - 歯ブラシだけではとれない細菌の除去
  - 適切なセルフケア（歯磨き、うがい）指導
- ◆ 通常1～2回の受診で終わることができます

口の中はとても細菌の多い場所です  
治療中や治療後にその細菌が悪影響を及ぼすことがあります  
特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには治療前から口の中を  
きれいにし細菌をできるだけ減らしておくことが有効です



## 入院中の生活の注意点

- ◆治療中は免疫力低下のため、感染リスクが高くなります  
マスクの着用、手洗い・うがいをしましょう  
入院中、手洗いの動画をテレビの無料チャンネルで視聴できます
- ◆口の中は清潔にするように心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりととりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こしますので尿意を感じたら我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください
- ◆正しく安全に点滴を投与するために輸液ポンプを使用します
  - ・点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
  - ・歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります  
点滴台は、支えにしないようにしましょう



こんなときは看護師にお知らせください

- \* 輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- \* 点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき



- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます  
尿や便に直接接触しても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、  
できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- ・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーで  
きれいに拭き取りトイレに流しましょう  
2度拭き取ると良いでしょう



- ・トイレの後、フタがある場合は、**フタをして水を2回流しましょう**
- ・使用済みのナプキンや尿とりパッドは、以下のようにしましょう
  - \* トイレ内に設置しているナイロン袋に入れて口を結びましょう
  - \* トイレからナースコールを押して、看護師に渡しましょう
- ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

# ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は3日間の予定です

治療後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます





### 今日の目標

- 入院生活と治療内容について理解できる
- 治療中の注意事項について理解できる
- 心身共に治療を受けられる状態にある

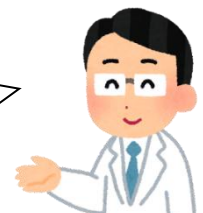
<時間>	<予定>	
11:00	入院	<p>【入院後に以下のことを予定しています】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）</li> <li>• 検温、血圧測定、身体測定</li> </ul>
12:00	昼食	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 血液検査、尿検査、胸部レントゲン、心電図</li> <li>• 入院前の生活状況や身体状況の聞き取り</li> <li>• 味覚障害や食欲不振等がある場合、栄養指導を希望される場合は、お知らせください</li> </ul> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     治療の流れや注意事項について説明します                      過敏症、点滴部位の痛み・血管痛について説明します                      「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照                      「ベバシズマブ（アバスチン）ハンドブック」参照                 </div> <p>&lt;お薬&gt;                      他の病院で処方された薬は、一度お預かりします                      医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします</p> <p>&lt;食事&gt;                      食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください                      基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります</p>
18:00	夕食	
21:30	消灯	<p>&lt;睡眠&gt;                      眠れないときは安定剤を服用することができます</p>

薬剤師から治療の流れや副作用の説明があります  
 ベバシズマブ（アバスチン）の注意点について  
 詳しく記載された冊子をお渡しします  
 治療が開始したら、毎日治療ダイアリーを記入しましょう



※2回目以降の入院の方は、治療ダイアリー（血圧手帳）を確認します  
 血圧が正常値より高い、頭が重い感じが続く、鼻や歯肉からの出血が続くなど  
 気がかりなことがありましたら、看護師にお知らせください

医療スタッフの目標  
 • 安心して治療を受けられるように支援します



# 抗がん剤投与当日 月 日



## 今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00 起床、検温、血圧測定

7:30 朝食

点滴開始時間は  
前日までにお知らせします

9:30 治療前にトイレに行きましょう

点滴を始めます（午前治療 9:30～ 午後治療 14:00～）

※抗がん剤の投与前、開始5分後、終了時には、血圧、脈拍を測定します

①生理食塩水100mlの点滴を行います

②生理食塩水100ml＋ペバシズマブ（アバスチン）（抗がん剤）が入った点滴を行います（90分・60分・30分）

③生理食塩水50mlの点滴を行います

終了後、針を抜きます

点滴をしている腕は、できるだけ曲げないようにしましょう

移動はゆっくり行いましょう

※点滴をしている腕はできるだけ伸ばして動かさないようにしましょう

携帯電話や読書のときにも点滴をしている腕は使わないようにしましょう  
点滴の管をひっぱったり、体の下に敷き込んだりしないように気をつけましょう

ベッドから起き上がるときは、リモコンを使いましょう

12:00 昼食

退院前日には、退院後の注意点などを説明します  
次回外来予約票、入院予約票をお渡しします  
2階入院受付で、次回の入院手続きをしておきましょう  
「退院後の日常生活について」のページ参照

14:00 検温、血圧測定

点滴が終了後、シャワー浴ができます

体調に合わせて体を拭くこともできます

18:00 夕食

19:00 検温、血圧測定



点滴後2日間は  
フタをして水を  
2回流しましょう

21:30 消灯

## 医療スタッフの目標

- ・抗がん剤点滴中の副作用症状の早期発見に努めます
- ・抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



# 治療翌日以降 月 日



## 今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- 退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床  
検温、血圧測定

治療ダイアリーを記入しましょう

7:30

朝食

10:00

検温、血圧測定

★毎週金曜日は体重測定します

12:00

昼食

退院後の日常生活について説明します  
次回外来予約票、入院予定票をお渡しします  
2階入院受付で、次回の入院手続きをしておきましょう  
「退院後の日常生活について」のページ参照

体調に合わせてシャワー浴をしましょう

18:00

夕食



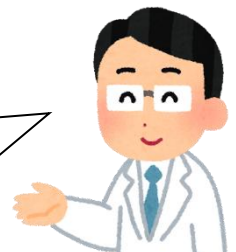
点滴後2日間は  
フタをして水を  
2回流しましょう

21:30

消灯

## 医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 退院後の日常生活に不安がないように支援します



退院日 月 日



### 今日の目標

- 退院後の日常生活の注意点について理解できる
- 退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床  
検温、血圧測定

7:30

朝食

10:00

退院  
退院前に忘れ物がないようにご確認ください  
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、  
2階でお支払ください

次回外来受診は

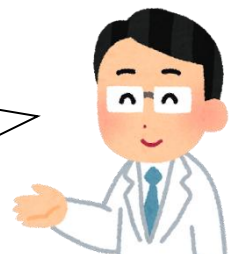
月 日 ( ) 時 の予定です

治療後、時間が経って出現する副作用もあります  
「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット  
「ベバシズマブ（アバスチン）ハンドブック」の副作用  
症状について再度確認し、次の治療に向けて体調を整えて  
おきましょう



医療スタッフの目標

- 退院後の日常生活に不安が残らないように支援します



# 外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

## 通院治療の流れ

① 受付



B受付

② 採血  
中央処置室



☆採血時のお願い☆

採血時に注意することは退院前に確認しておきましょう  
点滴予定の腕とは反対の腕で採血しましょう



採血結果が出るまで、  
約30分～1時間かかります

③ 診察受付

A受付

B受付

C受付

S受付

呼吸器科  
消化器科  
緩和ケア  
感染症腫瘍内科  
骨軟部腫瘍・整形外科  
禁煙外来

泌尿器科  
血液腫瘍内科  
原発不明がん診療科

④ 診察

乳腺外科  
婦人科  
形成外科  
頭頸科・甲状腺腫瘍外科  
歯科  
病理診断科

消化器内科  
糖尿病内科  
内分泌内科  
循環器内科  
皮膚科  
眼科  
精神科  
脳神経外科  
リンパ浮腫  
がんゲノム医療外来

## 治療決定

S受付

⑤ 治療  
通院治療室

看護師が点滴の針を刺し、  
確認後に抗がん剤を開始します

## 治療終了



検査や他の診療科で診察のある方は、各受付へ

検査の説明を受ける方は、予約センターへ

⑥ 会計

予約センターは  
B受付の隣です



処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

**\*お薬の処方がある方へ**

6番窓口で処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

## 通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行うため、少し時間がかかります。
- 入室時に、ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料で利用できます。ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- 付き添いは原則ご遠慮いただいております。ご家族の待機場所として「暖だん」や「図書コーナー」などがあります。
- 副作用や日常生活で困っていることや相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。



# 退院後の日常生活について

## ●治療ダイアリー（血圧手帳）

退院後も、治療ダイアリー（血圧手帳）は毎日記入しましょう  
治療ダイアリー（血圧手帳）は、次回受診時にお持ちください  
血圧が正常値より高い、頭が重い感じが続く、鼻や歯肉からの出血が続くなど、  
気がかりなことがありましたら、医療スタッフにお知らせください

## ●お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください  
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



## ●活動

無理をしない程度で体を動かしましょう  
活動の内容や範囲に制限はありません  
活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください

## ●性生活について（パートナーの方も一緒に読みましょう）

【パートナーとの関係について】

治療を受けた後は、性生活に様々な変化が見られることがあります  
退院後、パートナーとの関係に不安を持つ方も少なくありません  
自分の気持ちを伝えたり、治療前の事にこだわらず話し合うことが大切です

## ●仕事

社会復帰（特に重労働：荷物運びや長時間の立ち仕事、長期の旅行、スポーツ）  
については、医師と相談してください

これから先、安心して働き続けるためには  
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に  
なることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」を  
サポートしています

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



ちりょうさ  
厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

## ●その他

虫歯、歯肉炎、義歯などの口腔内の不具合はないか確認しましょう  
治療開始後、歯科治療が必要なときは歯科受診について、医師にご相談ください  
インフルエンザ等の予防接種を希望される場合は、医師にご相談ください



- 激しい腹痛があるとき
- 激しい頭痛があるとき
- 出血が止まらないとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は  
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8：30～17：15  
四国がんセンター がん相談支援センター  
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】  
日直/夜間当直師長  
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更  
【平日】 13：00～17：00  
四国がんセンター 予約センター  
(直通番号) 089-999-1112



ベバシズマブ（アバスチン）療法を受けられる方へ